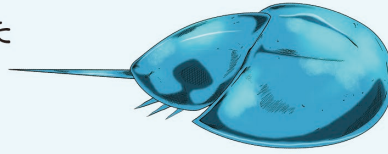


# まなべ陽子のかぶとがに通信

市議会だより 6号 令和5(2023)年8月発行

- P.1 議員報酬 減額されました
- P.2-3、5 個人質問について
- P.4 個人質問 動画一覧
- P.6 日々の活動 動画紹介



## 笠岡市議会議員の報酬額が、特別職報酬等審議会の答申通りに減額されました

令和5年8月7日笠岡市議会臨時会において、議員報酬を笠岡市特別職報酬等審議会の答申通り45万円に減額する条例改正案（発議第2号）が全会一致で可決されました。

この臨時会においては、笠岡市制71年始まって以来初である、市民による直接請求（地方自治法第74条条例の制定・改廃の請求）に基づく条例改正案（議案第53号）が提出されていましたが、賛成1（真鍋のみ）不賛成15の大多数により否決されました。

真鍋は令和2年4月以降一貫して、現在の議員報酬額が特別職報酬等審議会の答申額から5万円高いことに異を唱え、継続的、具体的に取り組んできました。

### 【これまでの取り組みについて】

#### 令和2年6月議会

議員報酬額を2割カットする内容の発議を賛成者として上程。賛成 2 不賛成 17 反対多数で否決。

#### 令和2年6月議会・9月議会

個人質問において2度、特別職報酬等審議会開催の必要性を市長に提案。

令和3年8月4日

第1回笠岡市特別職報酬等審議会が開かれた。その後、同年10月1日、11月24日と計3回開催された。

#### 令和3年12月、令和5年1月

特別職報酬等審議会答申通りに議員報酬を減額する内容の請願に2度、紹介議員となる。（※1）

（※1）2度目の令和5年3月議会における請願にいたっては、紹介者は私一人、賛成も私一人、あとのみなさまは不賛成という、【圧倒的多数による不採択】と結果であった。

#### 令和4年10月

行政改革特別委員会に提出した笠岡市議会基本条例総括評価票では、

（議員報酬）第26条評価において

「議員報酬額については、いまだ市民からの批判が絶えない。現在、報酬審の答申額に合わせていることについても、周知されていない。複合的に社会状況が悪化し、市民生活が苦しいという声が日々届く状況の中、報酬審の答申額に今後も合わせていく必要性について検討が必要」と指摘。

令和4年1月臨時会、令和4年6月議会、令和5年3月議会において3度、昭和43年10月17日、自治省局長から出ている通知「特別職の職員の給与について」（※2）について質疑をしたが、議会・行政改革特別委員会では自治省局長通達について議論が行われることはなかった。

（※2）「特別職の職員の給与について」

（2 特別職報酬等審議会について の5答申の内容の尊重）  
特別職の職員の給与を改定する際には、審議会の答申の額を上回って給与の額を決定し、または改定の実施時期を繰り上げるのではないよう十分配慮すること

### 真鍋の視点

今回議会から発議された条例改正案（発議第2号）は「特別職報酬等審議会答申通りに議員報酬を減額する」という内容においては、私がこれまで行ってきた活動と全く同じ趣旨であったため、賛成をいたしました。

けれど、議会側が市民からの直接請求に基づく条例改正案（議案第53号）を重く受け止めた上で市長の意見書を取り入れ、議案第53号の修正案を提出、可決できればもっと良かったのではないかと考えています。

行政や法律のプロではない市民が、自らの自主性で行った条例改正のための、直接請求です。今回、金額の間違いや施行日の記載がないなどもありましたが、それは市長の意見書をもって訂正を入れることができます。とはいえ、市長による意見書は法的拘束力を持ちません。そして、直接請求に対して市長は修正案を出すことができません。市民からの直接請求による条例改正案と市長の意見書を受け、修正案を出すことができるのは議会側だけでした。



みなさまはどうお考えになれますか？

### 【議員報酬増額について、これまでの取り組みの詳細】

【議員報酬増額分を寄付するまでに、さまざまにいただいたご意見、そして自ら考えたことについて】

QRコードで検索できない場合

「議員報酬増額分を2020熊本水害支援に募金しました。まなべ陽子」

で検索いただけると幸いです。



## 令和4年（2022）12月議会

### 【オーガニック給食について】

- 令和3年12月10日、本市でオーガニック食材を初めて給食に使用、その後令和4年3月定例会個人質問において尋ねた際、令和4年度においても実態に合わせ、より農薬が使われていないもの、産地もできるだけ笠岡産、岡山県産食材を利用していきたい、また、自校調理をしている島しょ部の給食で可能か検討していく、とのことであった。その後の進捗状況を尋ねる。

#### 教育部長より

令和4年12月15日の給食にて岡山県産有機栽培のニンジンとほうれん草を使用する予定となっている。島しょ部校給食の有機栽培野菜の利用については価格面など課題はあるが、購入方法や献立作成で工夫をするなど引き続き使用について研究していく。

- 令和4年7月1日、みどりの食料システム法が施行され、令和5年度に向け、農林水産省、文部科学省から自治体に対する支援メニューが提示されている。令和5年度、本市においてはどのような取り組みを考えているのかを尋ねる。

#### 教育部長より

購入価格の課題や地産地消での大量納入を求める学校給食センターへの安定供給が難しいという課題がある。みどりの食料システム戦略による有機農産物生産者への支援状況などもみながら調査研究していく。



### 【市庁舎設備、市内設置看板などの老朽化について】

- 令和4年度、市制施行70周年を迎えた本市であるが、市庁舎各部署においてはブラインドをボロボロのまま使用、市内においては文字の薄れた大小の看板が各地に放置されている。市外の方に対する印象への懸念はもちろん、市民からも苦情が届いている。今後、整備する予定はあるのかを尋ねる。

#### 市長より

庁舎施設の整備はイメージや美観の観点からとても重要だと認識している。ブラインドの交換や看板のリニューアルなど、必要な施設修繕について順次実施しているところだ。



- 北川小学校前の文字の薄れた看板やスクールボートの船着き場など、子ども達の目につきやすいところは学びの意欲にもつながる。ぜひ早めに整備していただきたい。

## 真鍋の視点

### ～移住・定住政策、関係人口政策について～

令和3年（2021年）6月議会個人質問

「移住・定住政策、関係人口政策について」の項にて「**保育所等における広域入所**」の条件緩和について言及しました。

その後、令和4年12月議会において、利用者にとって使いやすい制度とするため井笠地域3市2町で要件を統一できるように協議を進めていることが表明され、令和5年4月より市外からの受け入れは「市内に通勤先がある」「笠岡市が通勤途上の市である」ことが要件になり、広域入所利用者は令和5年6月現在38名、令和4年度の10名からすでに28名の増加となっています。

日本全体で子どもの出生数は減少しています。笠岡市内では保育施設の定員人数に対し、入所している子どもの数は明らかに少なく余裕がある中、近隣自治体間と連携し、子どもを受け入れることは施設の有効活用につながります。

他自治体の子どもや保護者が日常的に笠岡の食や文化に親しむことで、将来にわたって関係人口となることも予測されます。

広域入所の条件緩和をきっかけとした将来的な関係人口増減については、今後も注目していきます。



早苗ネネ浅口市議会議員、福田京子矢掛町議会議員と共に、市内保育施設の視察を行いました。

### 監査横（定住促進センターそば）トイレ改修されました。

男性トイレの横を通らなければ女性トイレに辿り着けない状況に気付いたのは7年以上前。普段からこのトイレを使われている方々はもちろん、移住定住を考えていらっしゃる方々が快適に利用できるようにと関係各所に働きかけていました。



ボロボロだったブラインド、看板なども順次きれいになってきています。

### 子育て世帯向けAIチャットボット

子育てに関するお問い合わせについて24時間365日いつでも対応できるサービスが始まっています。皆さま、お気軽にご利用ください。



## 令和5年(2023)3月議会

### 【 ヤングケアラーに対する調査について 】

- 令和4年12月議会個人質問において、ヤングケアラーに対する調査はできにくいとの回答があった。自らがヤングケアラーだという自覚のない子どもに対する啓発も兼ね、一人一台端末タブレットを活用し、アンケート調査を行うことはできるか尋ねる。

#### 教育部長より

ヤングケアラーの早期発見のためにはカウンセラーやスクールソーシャルワーカーをはじめ、民生委員や主任児童委員等の地域の関係者及び放課後児童クラブ、児童相談所、子育て支援課等の関係機関とより一層の連携を図り、チームで取り組むことが大切。

確実に支援を届けるために、今後教育委員会としてもアンケート調査の実施に向けて、国や他市の調査結果などを参考にし、質問内容等も含め調査研究していく。子どもたちに対する調査については1人1台端末タブレットを使ってのアンケート調査等をしていきたいと考えている。

またもちろん子どもだけでなく、関わる教職員や主任児童委員、放課後児童クラブなど色々な方々がチームになってこの問題を解決していくための意識も含めての調査も考えていきたい。

#### 🌀 真鍋の視点 🌀

2023年4月、子どもの権利条約の精神にのっとる形で制定された国のこども基本法が施行された。条約の一般原則を踏まえ、また基本理念の下、こども施策は基本的にこども家庭庁に統合されている一方で、こども施策の実施は自治体が行う。

笠岡市においては平成25年4月1日施行笠岡市子ども条例を制定している。この条例で保障されている生きる権利、守られる権利、育つ権利、参加する権利、この4つの権利を真に笠岡市に落とし込んでいく政策を期待する。



笠岡市子ども条例

#### ハートフルおかやま110について

岡山県青少年総合相談センター(ハートフルおかやま110)

は、総合相談窓口と、4つの専門的な相談窓口

○教育相談 ○子どもほっとライン

○進路相談 ○ヤングテレホン・いじめ110番

が集まった青少年の総合相談センターです。

**24時間対応の電話相談窓口もあります。**

LINE相談も行っています。

アカウント名 「ハートフルおかやま110」

(LINE ID @hfokayama)

火・木・土曜日 17:00~21:00

(年末年始を除く)

ハートフルおかやま110についての詳細は→



### 【 笠岡市内における子育て環境整備について 】

- 高校生までの医療費完全無償化、給食費無償化は困難とする一方で、常設の子育てステーションを必要とする理由は何か。

#### 子ども部長より

高校生までの医療費無償化については、高校生の手術費や入院費といった高額となる医療費部分に関して十分にカバーできている。

学校給食費については、保護者の経済的負担を軽減するため、特別支援教育就学奨励事業や準要保護児童生徒援助費補助事業等の就学援助を行っており(小・中児童・生徒数2,950人中、支援対象者は約500人)医療費と同様に、経済的支援を目的としたセーフティネットを整えている。

子育てステーションは、本市に住まわれた方々が出会い、結婚、出産、子育てへとステップを歩まれる中、本市の専門職員が全力で伴走型の育児支援を行うとともに働く女性のサポートや育児の孤立化対策など、様々な子育て支援サービスを提供し、2人目、3人目へと出産、子育てをしていただく、そのことを目的とした子育て総合拠点となるもの。前者の経済的支援とは、同じ土俵において論議できないものと考えている。

#### 🌀 真鍋の視点 🌀

##### ～ 給食費無償化、医療費無償化について～

コロナ禍、そして物価高の影響で市民生活は全体として家計が大変苦しい状況。他の自治体のように給食費が無償であれば大変ありがたいという子育て世代からの声がある。令和5年4月1日から東京都23区全ての自治体において高校生世代の医療費が所得制限なし、自己負担なしで無償化されている中、障がいと共に生きる子どもを育てている保護者の方々から、高校生以後の医療費が多額で家計を圧迫して生活が厳しいというお話はコロナ禍前からよくお聞きしている。給食費無償化、そして高校生までの医療費無償化は子育て支援に重きを置く自治体において珍しくはない政策となってきた今、笠岡市においても前向きに検討を重ね、ぜひ導入していただきたい。

##### ～子育てステーションについて～

子育てステーションに行くことができるご家庭はつまり、今ある施設どこにでも行くことのできるご家庭。設置予定の場所についても疑問の声が上がっている。そして、真鍋は「必要」とする市民の声を聞いたことがない。常設の子育てステーションに職員や専門家を集めて市民を待つのではなく、家から出ることができずに苦しんでいる保護者にきめ細かく寄り添ったり、一時保育など有料の子育て支援サービスを利用できる券(チケット)などをお子さんがある家庭に発行するなど、貴重な予算はより個に寄り添ったサポートを具体的に行うために使っていただきたい。

## これまでの個人質問 動画一覧

### 令和2年6月議会 個人質問

- ① 特別職報酬等審議会について
- ② 2020年4月19日投開票笠岡市市長選挙  
市議会議員選挙について
- ③ 学校教育について



### 令和2年9月議会 個人質問

- ① 新型コロナウイルス感染について
- ② 気候変動対策について
- ③ 10月25日投開票岡山県知事選について
- ④ 引きこもりについて
- ⑤ ヘルプマークについて
- ⑥ パートナーシップ宣誓制度について
- ⑦ 子どもたちの学びの環境について



### 令和2年12月議会 個人質問

- ① 新型コロナウイルス感染拡大による笠岡市内における  
地域経済への影響について
- ② ふるさと納税について
- ③ 気候変動対策について
- ④ 2020年10月25日投開票岡山県  
知事選について
- ⑤ 笠岡市内における火災件数の推移について
- ⑥ 笠岡市民病院小児科について
- ⑦ 特別支援教育の充実について



### 令和3年3月議会 個人質問

- ① 新型コロナウイルス感染症による笠岡市内における  
市民生活への影響について
- ② 学校教育について
- ③ 笠岡市住宅マスタープランについて
- ④ 移住・定住政策、関係人口政策について



### 令和3年6月議会 個人質問

- ① 新型コロナウイルス感染症について
- ② 笠岡市制施行70周年記念事業について
- ③ 移住・定住政策・関係人口について
- ④ 学校教育について
- ⑤ 成年年齢について



### 令和3年9月議会 個人質問

- ① 新型コロナウイルス感染症について
- ② 笠岡市民病院について
- ③ 移住・定住・関係人口政策について
- ④ 学校教育について
- ⑤ パートナーシップ宣誓制度について



### 令和3年12月議会 個人質問

- ① 新型コロナウイルス感染症の健康への影響について
- ② 障がい者週間について
- ③ 令和3年10月31日投開票第49回衆議院議員選挙について
- ④ ファミリーシップ・パートナーシップ  
宣誓制度について
- ⑤ 移住・定住・関係人口政策について
- ⑥ 学校教育について



### 令和4年3月議会 個人質問

- ① 新型コロナウイルス感染症について
- ② 移住・定住・関係人口政策について
- ③ 給食について
- ④ プラスチックごみゼロ宣言について



### 令和4年6月議会 個人質問

- ① 新型コロナウイルス感染症について
- ② 令和4年夏投開票参議院議員選挙について
- ③ 移住・定住・関係人口政策について
- ④ 子どもたちの健やかな育ちを保障するために



### 令和4年9月議会 個人質問

- ① 令和4年7月10日投開票参議院議員  
通常選挙について
- ② 学校教育について
- ③ デジタル地域通貨を活用した地元企業  
支援と地域コミュニティの形成、行政コ  
ストの削減について



### 令和4年12月議会 個人質問

- ① 認定こども園、幼稚園、学校における  
保育と教育について
- ② 支援が必要な子ども達について
- ③ 笠岡市内における環境整備について



### 令和5年3月議会 個人質問

- ① 笠岡市子ども条例について
- ② 笠岡市内における子育て環境整備について
- ③ ゲノム編集高GABAトマトについて



### 令和5年6月議会 個人質問

- ① 令和5年4月9日投開票岡山県議会  
議員選挙について
- ② 移住・定住・関係人口政策について
- ③ 学校教育について



## 令和5年（2023）6月議会

### 【 貴重な1票を大切にするための主権者教育、環境整備について 】

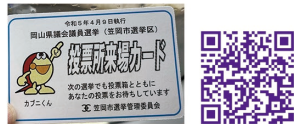
- 4月9日投開票岡山県議会議員選挙笠岡選挙区において無効票が168票出ている。どのような記載が無効票となるのか、ホームページや広報かさおかで特集するなどして周知できるのか。  
投票所を高齢者や様々な障がいのある方など、誰もが投票しやすい環境にするために、コミュニケーションボードの設置はできるのか。

#### 選挙管理委員会委員長より

無効投票の事例を知っていただくことは有権者の意思を確実に反映させるため必要なので、HPや広報紙を活用し周知していきたい。  
コミュニケーションボードについては先進事例も参考にしながら導入を検討する。

#### 投票所来場カードについて

令和5年4月9日投開票岡山県議会議員選挙より配布が始まりました！



### 【 子ども達の学びの権利、学びの多様性を保障する学校教育について 】

- 令和4年12月議会における真鍋の個人質問において、トモニ療育センター河島淳子先生をお招きし、学校の先生方や施設の方々を対象とした研修会ができたらいなどの答弁がありました。その後、具体的な検討は進んでいるのか。

#### 教育長より

教育や福祉の関係者を対象とする研修会開催に向けて、引き続き検討している。

（個人質問後、令和5年8月に開催されました。）

- 高校受験における合理的配慮について、生徒や保護者に対してどのように周知を行っているのか。

#### 教育長より

全ての中学校で日常の教育相談や個人懇談、進路懇談会の際に行っている。令和4年度は問題用紙、解答用紙の拡大、補聴器使用許可、座席位置の変更等があった。合否については当日の筆記試験と面接及び学校から提出される調査書で総合的に判断される。この合理的配慮が直接合否に関わるわけではない。特別な支援を必要とする生徒が受検する際に、病気や障害等の事情によって不利になることがないよう今後も高等学校とも連携を取っていく。また、個々の状況や中学校等での配慮事項を踏まえて特別な配慮の内容が決定される

ことから、早い段階で生徒、保護者に周知するとともに相談体制を充実させ、全ての志願者が本来の力を出し切ることができるように各校に指導していく。

- 合理的配慮が必要な子どもの保護者においては格差が激しい状況がある。意識の高い保護者は小学校段階から準備を進めている一方で、我が子の読み書き困難に気づかないケースでは、合理的配慮が必要であっても実態把握にはなかなかとどろつかない場合も多く、悩める間に時間だけが過ぎるというケースも多くある。だからこそ教育現場で困難さに気づいた生徒については保護者の皆様に合理的配慮について中学校1年ぐらいからお伝えしてほしい。
- 令和3年12月において個別の教育支援計画を対象である児童・生徒全ての保護者に渡すことを義務化していただきたいと要望した。  
その後の取組について尋ねる。

#### 教育長より

笠岡市における個別の教育支援計画作成、引継ぎと保護者との協議については特別支援学級在籍の児童・生徒の保護者に対しそのコピーを渡すことを指示している。資料を見せながらの口頭での共有は全校でできているが、コピーの配布にまで至っていない学校が数校ある。

### 真鍋の視点

#### ～笠岡駅付近におけるにぎわいの創出について～

笠岡市には大学や専門学校はないが、多くの高校生が通ってきており、毎日の通学のために笠岡駅を利用している。にぎわいを創出するためにも駅付近の空き店舗を放置することなく学生の方々に笠岡市の良さを知っていただけるような活用方法をぜひ、考えていただきたい。

全国には1,700以上の自治体があり、そのほとんどがふるさと納税を通して我が町のアピールをしているが、選ぶ方にとっては自分が少しでも関わりのある地域、興味のある地域などが選択肢に入ってくるものだ。毎日笠岡に通われていた学生さんたちが将来ふるさと納税を考えた時、笠岡を思い出していただけるような若者の心に届く、生き生きとした取り組みを求める。

また、東京都では平成27年度より障がい者福祉施設を利用する方々が作った作品の情報や魅力を広く発信する「自主製品魅力発信プロジェクト」に取り組んでいる。そのプロジェクトの一環として、自主製品をより多くの人に理解していただき、いつでも購入できるようにとショップを東京都内に3店舗開設。そのショップを利用するためには、所定の審査が必要だが、審査を通ればそこに商品を置くための費用は一切かからず、かつ置いている商品の販売利益は全て事業者に戻元される。

運営を行っている小売経験のある販売のプロから、商品についてのアドバイスを受けることもできる。これは、いつまでもそのショップで売り続けるというよりも、ショップを通して販売力の高い商品を開発し、自分たちで販路を見つけていただくための事業とのこと。行政が駅構内あるいは駅近隣にある店舗活用を考えるのであれば、行政にしかできないこういった役割を担う事業を行う必要があるのではないか、と真鍋は考えています。



## 政務活動紹介

### 「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム 2022明石 現地参加いたしました。(R5.2.11)

子どもも真ん中！子ども施策日本一！と言っても過言  
ではない明石市で行われた  
「地方自治と子ども施策」  
全国自治体シンポジウムに  
参加いたしました。



### 多層指導モデルMIMを使用した公開授業を見学しました (笠岡小学校にて R5.5.26)

通常の学級で異なる学力層の子どものニーズに対応し、  
アセスメントと指導を繰り返しながら子どもたちの読み  
やすさを育むための指導・  
支援をする多層指導モデル  
MIMを使用した公開授業を  
見学しました。



### 救急艇みたけ (R5年7月より運航) 見学しました (R5.5.31)



さまざまな高度救命処置敷材が搭載されていました。

### 真庭あぐりガーデンで開催された 「岡山県市議会議員女性の会」に参加しました。(R5.7.7)

岡山県内には48人の女性市議会議員がいます。  
今回、笠岡市からの参加は真鍋1人でした。



### 多層指導モデルMIMについての勉強会を行いました。 (R5.7.27)

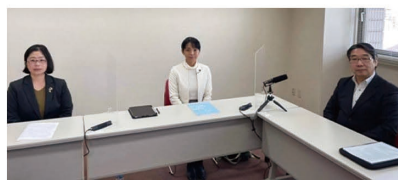
岡山県内各地から読み書きの困難さについて学びたいと  
集まれた方々とともに、笠岡市で取り組んでいる多層  
指導モデルMIMについて学び、その後情報共有、意見交  
換を行いました。



## 動画のご案内

### 前川喜平さんにお聞きするインクルーシブ教育

前川喜平さん(元文部科学事務次官)にお時間をいただき、大塚愛岡山県議会議員と  
インクルーシブ教育について対談、動画収録をしました。(R5.1.10)



日本の分離教育に対する国連からの勧告や、  
世界における日本の現状について、高校に  
おける包括的なコースや合理的配慮について、子どもたち  
に対する学びの保障について、バウチャー制度についてな  
どなど…文字起こしをしてブックレットにしたいと思うほど、  
ギュッと中身が詰まっています。みなさまぜひ、ご覧ください。



#### 【入会団体・賛同団体】

みどり岡山  
自治体議員政策情報センター虹とみどり  
気候危機・自治体議員の会  
立憲主義と地方自治を守る議員の会  
岡山県市議会議員女性の会

#### 【所属している委員会・審議会】

総務文教委員会  
笠岡市都市計画審議会



manabeyoko.kasaoka@gmail.com

ホームページ <http://www.manabeyoko-kasaoka.org>

ブログ <http://blog.livedoor.jp/manabeyoko>

Facebook <https://www.facebook.com/manabeyoko>

Instagram [https://www.instagram.com/manabe\\_yoko\\_k](https://www.instagram.com/manabe_yoko_k)

TikTok [www.tiktok.com/@manabeyoko](http://www.tiktok.com/@manabeyoko)

まなべ陽子市政だより「かぶとがに通信」  
へのご意見・ご要望・ご提案などお聞かせ  
ください。  
どうぞよろしくお願いいたします。

